

大腿骨近位部骨折の手術を受けられる方へ

(ID: _____) 様

説明日: 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

主治医: _____ ㊞

病名: (右 ・ 左) 大腿骨 (頸部 ・ 転子部) 骨折

説明者: _____

(病棟・病室: _____ 階病棟 _____ 号室)

本人または家族の方の署名: _____ (本人との続柄: _____)

症状	推定入院期間	日程度	特別な栄養管理の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
----	--------	-----	------------	----------------------------	----------------------------

病日	入院～手術まで		手術日		手術後					
	入院～	手術前日	前	後	1日目	2日目	3日目～6日目	7日目～14日目	15日目～退院まで	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 手術の必要性が理解できる 手術や麻酔に対する不安が最小限である 痛みのコントロールができる 		<ul style="list-style-type: none"> 手術後の全身状態が安定している 痛みのコントロールができる 深部静脈血栓症を起こさず経過できる 		<ul style="list-style-type: none"> リハビリを開始し、離床することができる 尿管カテーテルを抜き、排泄ができる 		<ul style="list-style-type: none"> 車椅子などの補助具を使用し移動ができる 高熱や血液検査などで感染の徴候がない 今後のリハビリの目標が決まる(転院を含む) 			
処置検査	血栓予防のため、足にストッキングや機械を装着します 採血やレントゲンなど、全身の検査を必要時行っていき、必要に応じて歯科受診を行いません	麻酔科受診や必要時他科受診を行います	採血をします		採血をします	傷の消毒とガーゼ交換を行います	7日目に傷の状態が良ければ抜糸をします 7日目と14日目に採血をします 7日目にCTやレントゲンを撮ります 医師の指示にて、追加で採血やレントゲン撮影などを行う事があります			
与薬	状態により点滴をすることがあります		医師の指示で点滴を始める事があります	手術後は翌日まで点滴を続けます	抗生剤の点滴をします (腎機能により回数異なります)		血栓予防の薬を内服します (腎機能により内服が無い事もあります) 必要時、医師の指示にて点滴や内服する事があります			
排泄	ベッド上排泄です 尿管が入ることがあります 便秘になりやすいので、排便コントロールを行います		 尿管が入っていますが、手術後の状態を見ながら抜きます (尿管が入らない事もあります)							
栄養管理	入院時に、医師・看護師・管理栄養士によって栄養状態の評価を行い、必要に応じて入院栄養指導を行います。									
食事	治療食の方は病院食以外食べないで下さい	夕食まで摂取可能です	朝から絶飲食です	手術後の食事や水分摂取については、医師の指示に従ってください		しっかりと食べて栄養を付けて下さい 高血圧や糖尿病など既往症のある方は、病院食以外摂取しないようにして下さい				
活動	ベッド上安静です 痛みに応じてベッドの頭元を起こすことができます			ベッドの頭元を起こす事ができます		状態に応じて活動していきましょう 転倒転落に注意してください				
リハビリ	ベッド上でできるリハビリを行いましょ					起立、歩行訓練を開始します 退院までリハビリは継続して行います				
清潔	体を拭きます(2回/週予定)		手術着に着替えま	 体を拭きます(2回/週予定)		傷の状態が良ければ 抜糸翌日よりシャワー浴可能です				
備考	入院時説明、治療方針の説明をします	手術前説明をします	ご家族の方は、手術中病院内で待機して下さい 手術後医師より説明があります		リハビリ用の運動靴を用意して下さい 今後の療養先について地域連携担当者と面接して頂くことがあります 転院希望の方は、希望先を検討しておいて下さい			手術後2週間程度で退院または転院となります		

* 予定は患者様の状態によって変更となる場合があります。ご不明な点はいつでもおたずねください。